



長島高校

最後の体育大会

来年3月末で廃校になる長島高校（松元洋一校長）で9月10日、最後の体育大会が開かれ、生徒はもとより、町内外からたくさんの方が集まりました。事前に参加を広く呼びかけていたこともあり、卒業生や地区民、町内の小・中学校の児童生徒ら約360人が駆けつけプログラムに参加。在校生25人と心を一つにして、最後の体育大会を盛り上げました。

開会式で生徒会長の建山恭兵君が「最後の体育大会を成功させ、永遠に残る思い出をつくりたい。また、駆けつけてくださったみなさんに感謝したい」とあいさつして大会は幕開け。参加者は10人11脚や俵かつぎリレー、綱引きなど20種目にさわやかな汗を流しました。

当日の朝は雨に見舞われ、最後まで大会を続けられるか心配されましたが、競技に懸命に取り組む選手の気迫に押されたのか、荒天はどこかへ吹き飛んでしまいました。

障害物競走や輪回しリレーなどに出場した、在校生の立元伸幸君は「出番が多くて疲れたけど、全部が主役で楽しかった」と満足げでした。

